

平成26年度安全功労者・消防功労者総務大臣表彰

平成26年度安全功労者・消防功労者総務大臣表彰受賞者は、次のとおりです。

安全功労者表彰受賞者 個人15名、団体10団体

消防功労者表彰受賞者 消防団員9名、婦人（女性）防火クラブ員5名

（受賞者名等は、別添の受賞者名簿に記載されています。）

安全功労者総務大臣表彰は、「安全思想の普及徹底又は安全水準の向上のため、各種安全運動、安全のための研究、もしくは教育又は災害の発生の防止もしくは被害軽減に尽力し、又は貢献した方々の士気高揚を図る」という目的で、消防職団員以外の個人・団体を受賞対象とし、行っているものです。

消防功労者総務大臣表彰は、「国民の生命、身体、財産を災害から防護するため、郷土愛護の精神に基づき、消防活動、火災予防思想の普及等に献身的に尽力している消防団員及び婦人（女性）防火クラブ員の士気高揚を図る」という目的で行っているものです。

安全功労者・消防功労者総務大臣表彰式

- (1) 日 時 7月4日（金）11時00分～11時30分
- (2) 場 所 スクワール麴町 5階全芙蓉の間
千代田区麴町六丁目6番
- (3) 出席予定者 関口総務副大臣、消防庁長官、消防庁次長、国民保護・防災部長他



連絡先
消防庁総務課
小谷政策評価広報官・野村係長
TEL 03(5253)7521内線 42171
FAX 03(5253)7531

平成26年度
安全功勞者総務大臣表彰
消防功勞者総務大臣表彰

平成26年7月

消 防 庁

1 安全功労者総務大臣表彰受賞者（個人の部）

- 小 倉 健 夫（栃木県・足利市防火協会 相談役） ----- 1
- 馬 場 常 正（埼玉県・川越地区危険物防火安全協会 会長）
- 赤 羽 房之助（東京都・中野防火防災協会 会長） ----- 2
- 小 野 政 也（東京都・八王子防火防災協会 会長）
- 松 崎 洋（東京都・葛西防火管理研究会 会長） ----- 3
- 中 村 みどり（岐阜県・海津市女性防火クラブ 会長）
- 山 口 富 彦（岐阜県・下呂市危険物安全協会 会長） ----- 4
- 中 島 博 康（静岡県・沼津市防火協会 会長）
- 飯 尾 源 明（大阪府・松原市火災予防協会 副会長） ----- 5
- 井 関 雅 子（大阪府・豊中女性防火クラブ連絡協議会 会長）
- 嶋 谷 清 司（大阪府・西防災協会 会長） ----- 6
- 安 積 和 也（兵庫県・一般社団法人 兵庫県消防設備保守協会 理事）
- 細 中 ヒロ子（兵庫県・明石市婦人防火クラブ連絡協議会 会長） ----- 7
- 作 田 三 郎（広島県・福山市南防火協会 会長）
- 山 内 康 子（高知県・高知県女性防火クラブ連絡協議会 副会長） --- 8

2 安全功労者総務大臣表彰受賞者（団体の部）

- もとみやしじよせいしょうぼうきょうりよくたい
本宮市女性消防協力隊（福島県） ----- 9
- にほんばしぼうかかんりしやれんらくきょうぎかい
日本橋防火管理者連絡協議会（東京都）
- とみずほいくえんようねんしょうぼうくらぶ
富水保育園幼年消防クラブ（神奈川県） ----- 10
- ぎふけんじよせいぼうかくらぶうんえいきょうぎかい
岐阜県女性防火クラブ運営協議会（岐阜県）
- しらかわむらじよせいぼうかくらぶ
白川村女性防火クラブ（岐阜県） ----- 11
- ひろはたふじんぼうかくらぶ
広畑婦人防火クラブ（兵庫県）
- みつびしかがくぶつりゅうかぶしがいしやあまがさきゆそうしょ
三菱化学物流株式会社尼崎油槽所（兵庫県） ----- 12
- いわくにちゅうおうようちえんようねんしょうぼうくらぶ
岩国中央幼稚園幼年消防クラブ（山口県）
- はやまちくふじんぼうかくらぶ
葉山地区婦人防火クラブ（長崎県） ----- 13
- きゅうしゅうでんりよくかぶしがいしやくまもとししや
九州電力株式会社熊本支社（熊本県）

3 消防功労者総務大臣表彰受賞者（消防団員）

- かな もり くに ひろ
金森史公（北海道・北十勝消防事務組合士幌消防団 団長） ----- 14
- さくら ぼし とし お
櫻橋敏夫（北海道・釧路北部消防事務組合鶴居消防団 団長）
- はた さき ひき お
畑崎久雄（山形県・鮭川村消防団 団長） ----- 15
- よね かわ ふ じ お
米川不二夫（茨城県・大洗町消防団 団長）
- しば やま よし ゆき
柴山益行（愛知県・名古屋市黒石消防団 団長） ----- 16
- かわ なか たけ じ
川中長治（京都府・京都市山科消防団 団長）
- た なか あさひ
田中旭（兵庫県・たつの市消防団 団長） ----- 17
- の だ ふみ あき
野田文明（鳥取県・鳥取市消防団 副団長）
- は せ べ さとる
長谷部悟（高知県・高幡消防組合梶原消防団 団長） ----- 18

4 消防功労者総務大臣表彰受賞者（婦人（女性）防火クラブ員）

- 後 藤 重 子
（宮城県婦人防火クラブ連絡協議会 会長） ----- 19
- 佐 藤 みさ子
（山形県婦人防火クラブ連絡協議会 副会長）
- 安 野 照 子
（兵庫県婦人防火クラブ連絡協議会 副会長） ----- 20
- 田 所 雪 子
（香川県婦人・女性防火クラブ連絡協議会 会長）
- 大 森 幸 子
（愛媛県婦人防火クラブ連絡協議会 会長） ----- 21

安全功労者総務大臣表彰を受賞した個人及び団体

個人の部

○小^お倉^{ぐら}健^{たけ}夫^お

足利市防火協会 相談役
現住所 栃木県足利市

平成10年4月に足利市防火協会副会長、平成18年1月に会長に就任して以来、永きにわたり防火、自衛消防の重要性を唱え、会員相互の融和と会の活動充実強化に尽力した。

さらに、消防機関との連絡協調のために消防出初式での防火パレードに参加するほか、市民への防火啓発として防火標語の募集や消防フェアの活動を推進、足利市女性防火クラブ連絡協議会と連携した住宅用火災警報器設置促進のPRなど、今日における協会実施事業の基礎を築いた。

また、創立50周年を迎えた24年度には、会員数594事業所を数えるまでに成長させ、平成25年5月に会長職を退任後も、相談役として会の充実強化と地域の安全・安心に多大な貢献をしている。

○馬^ば場^ば常^{つね}正^{まさ}

川越地区危険物防火安全協会 会長
現住所 埼玉県川越市

平成13年6月、川越地区危険物安全協会（平成24年に川越地区危険物防火安全協会に名称変更）副会長に、また、平成16年6月から会長に就任し、現在に至るまで、豊富な識見と卓越した指導力により会の育成発展に尽くしている。

事業者の防火・防災管理と保安体制の充実強化に総力をあげて取り組むとともに、火災予防思想の普及啓発をあらゆる機会をとらえて推進し、消防機関や地域住民の信頼も厚く、安心・安全の街づくりに果たす功績は顕著である。

また、平成23年には、公益社団法人 埼玉県危険物安全協会連合会理事に就任し、広く社会公共の安全に多大な貢献をしている。

あか ばね ふさのすけ
○赤 羽 房之助

中野防火防災協会 会長

現住所 東京都杉並区

昭和52年、中野防火協会（中野防火防災協会前身）に入会以来、一貫して地域の防火防災思想の普及に向けた様々な事業を展開するとともに、協会の円滑な業務運営に寄与している。

平成10年から同協会副会長に、平成14年には人望の厚さと実行力の高さから同協会会長に就任し、以来豊富な識見と卓越した指導力により協会の育成発展に努めている。

また、消防署が実施する火災予防運動、防災週間、消防フェスタ等の各種事業の開催時や地域が実施する防火防災活動、歳末特別警戒の際には、自ら率先して協力し、地域住民の防火防災意識の向上に多大な貢献をしている。

お の まさ や
○小 野 政 也

八王子防火防災協会 会長

現住所 東京都八王子市

平成4年、八王子防火協会（後に八王子防火防災協会に名称変更）に入会以来、会計、副会長を歴任し、平成13年5月会長に就任し現在に至る。その間、八王子市民の防火防災思想の普及と地域防災力の向上、市民の福祉及び地域社会の利益に貢献している。

特に、地域の防火防災行動力の向上においては、住民と地元事業所の連携が必須であると考え、会長就任以来、事業所及び町会・自治会に働きかけ、災害時相互応援協定の締結に向けて尽力されている。

また、防火防災協会の要職のほか、町会長、商店会会長、防犯協会副会長等を兼務、歴任され、広く地域社会の安全安心に向けて多大な貢献をしている。

○^{まつ}松^{ざき}崎^{よう}洋

葛西防火管理研究会 会長
現住所 東京都江戸川区

昭和62年4月から江戸川防火管理研究会理事を務め、平成2年4月には副会長に就任、平成12年8月に、江戸川防火管理研究会が分割した際、葛西防火管理研究会の発足に多大な貢献をし会長に就任、豊富な識見と卓越した指導力により会の育成発展に寄与しました。

さらに、各種の消防関係団体の要職に就き、各事業の推進を図るとともに、春・秋の全国火災予防運動の一環として実施される防火のつどいには、自ら先頭に立って会員事業所及び地域住民に呼びかけるなど、防火思想の普及啓発に尽力し、葛西地区はもとより江戸川区の消防防災の指導者として地域住民の信頼も厚く、地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をしている。

○^{なか}中^{むら}村 みどり

海津市女性防火クラブ 会長
現住所 岐阜県海津市

平成15年4月に南濃町女性防火クラブの会長に就任すると同時に、海津郡女性防火クラブ運営委員会の委員長に就任し、併せて岐阜県女性防火クラブ運営協議会の理事にも就任する。さらに平成17年3月より町村合併後の海津市女性防火クラブの会長に就任し、平成20年4月からは、岐阜県女性防火クラブ運営協議会の監事として活躍されている。

また、平成24年11月より海津市防災会議委員と海津市国民保護協議会委員となるなど、各種の消防関係団体の要職に就き、会の育成発展を通して、防火防災思想の普及・啓発に尽力し、海津市の消防・防災の指導者として活動しており、地域住民の信頼も厚く、地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をしている。

やま ぐち とみ ひこ
○山 口 富 彦

下呂市危険物安全協会 会長

現住所 岐阜県下呂市

氏は、昭和38年6月に、旧益田郡危険物安全協会の理事に就任し、その後平成20年5月に下呂市危険物安全協会（旧益田郡危険物安全協会）の会長に就任し現在に至る。会長に就任して以来、豊富な識見と卓越した指導力により会の育成発展に尽くし、地域住民の信頼も厚く、地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をしている。

なか じま ひろ やす
○中 島 博 康

沼津市防火協会 会長

現住所 静岡県沼津市

平成19年5月に沼津市防火協会会長に就任して以来、火災予防運動、危険物安全週間等の各種行事に自ら率先して協力し、豊富な識見と卓越した指導力により会の育成発展に尽力している。

さらに、平成19年5月には静岡県危険物安全協会連合会副会長及び静岡県東部地区危険物安全協会連絡会会長も就任されるなど、各種の消防関係団体の要職に就き、会の育成発展を通して、防火思想の普及・啓発に尽力し、沼津市はもとより静岡県の消防・防災の指導者として活動しており、地域住民の信頼も厚く、地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をしている。

○飯 尾 源 明

松原市火災予防協会 副会長

現住所 大阪府松原市

昭和56年、松原市火災予防協会の会計理事に就任し、平成19年7月には豊富な職見と優れた指導力が評価され、同副会長に就任し、多年にわたり防火防災思想の普及に努め、同会の運営と発展に尽力している。

また、将来の自主防災組織の核となる人材を育成するという理念のもと、幼年期の防火防災教育のため幼年消防クラブの設立に取り組み、更に、春季・秋季火災予防運動、住宅用火災警報器の設置促進活動、防火防止キャンペーンを積極的に支援し、各種事業所だけでなく一般家庭に対する火災予防思想の普及・高揚するなど、安心安全で魅力的な地域社会の構築に多大な貢献をしている。

○井 関 雅 子

豊中女性防火クラブ連絡協議会 会長

現住所 大阪府豊中市

平成7年7月の設立当初から校区女性防火クラブの会長を歴任、平成11年6月に豊中女性防火クラブ連絡協議会副会長に、また、平成13年6月には同連絡協議会会長に就任し、以来、豊富な識見と卓越した指導力により会の育成発展に尽力している。

さらに、平成19年5月からの2年間及び平成25年5月から現在に至るまで、大阪府婦人防火クラブ連絡協議会副会長を歴任し、持ち前のリーダーシップと抜群の調整力により、大阪府内各地区の女性（婦人）防火クラブの牽引役となり、豊中市はもとより大阪府下の防災の指導者としても活動され、地域住民からの信頼も厚く、安心・安全なまちづくりに多大な貢献をしている。

しま たに せい じ
○嶋 谷 清 司

西防災協会 会長

現住所 大阪府堺市

昭和 63 年、浜寺防災協会（現西防災協会）理事に就任後、平成 12 年に同協会副会長に、平成 26 年には同協会会長に就任し、役員として 25 年余りの長きにわたり協会の発展に尽力するとともに、火災予防の普及啓発のための各種施策を展開し、さまざまな事業を強力に推進している。

また、平成 16 年からは幼年消防クラブ推進委員会会長として幼少期からの防火・防災教育に積極的に取り組むなど、各種の消防関係団体の要職に就き、堺市西区はもとより堺市全域の消防・防災の指導者として活躍しており、地域住民の信頼も厚く、安心・安全なまちづくりに多大な貢献をしている。

あ づみ かず や
○安 積 和 也

一般社団法人 兵庫県消防設備保守協会 理事

現住所 兵庫県尼崎市

氏は、昭和 56 年 5 月、社団法人兵庫県消防設備保守協会の監事に就任、この後平成 10 年 5 月理事に就任し、現在に至る。また、平成 10 年には、尼崎市浜田社会福祉連絡協議会の会長に就任、平成 11 年 12 月には、尼崎市浜田自主防災会を設立し、会長に就任するとともに、行政関係機関との連絡協調体制の確立等に奔走し、自治会等の組織運営に力を注いだ。

地域の防災活動については、

- ア 阪神淡路大震災後、土木建設業者と自治会との間において「重機稼働協定」を締結
- イ 消火器及び小型動力ポンプの取り扱い操作訓練
- ウ 担架操作訓練
- エ 土嚢積み実施訓練

等を実施することにより、地域住民の防災意識の高揚を図り、安心安全な街づくりに多大な貢献をした。

ほそ なか ひろこ
○細 中 ヒロ子

明石市婦人防火クラブ連絡協議会 会長
現住所 兵庫県明石市

平成4年、朝霧地区婦人防火クラブ設立にあたり、発起人として尽力し、初代会長として同クラブの発展に寄与した。

平成10年には、明石市婦人防火クラブ連絡協議会副会長に、平成16年には、同連絡協議会会長に就任した。以来、会長として「我が家から火を出さない。」を合言葉に家庭における防火思想の普及、啓発を図るため、各種教室、研修会等を開催するとともに、災害訓練等に積極的に参加、防火・防災意識の向上に努めており、地域防災力の牽引者として多大な貢献をしている。

さく た さぶ ろう
○作 田 三 郎

福山市南防火協会 会長
現住所 広島県福山市

平成11年4月1日、福山市南防火協会瀬戸支部の支部長に就任し、地域住民に防火・防災思想の重要性を認識させ、同協会の発展に尽力している。

さらに、責任感が強く、地域住民の負託と信頼に応え、市民が安心して生活ができるまちづくりを推進するため、防火座談会、消火訓練、防災研修等を開催して、防火・防災意識の高揚を図るとともに、消火器や住宅火災警報器の設置促進を呼び掛けるなど、消防行政に多大な貢献をしている。

また、平成23年からは、福山市防火協会連合会副会長としての要職に就き、同連合会の運営や事業を積極的に推進し、地域の安心・安全なまちづくりと防火・防災意識の向上に多大な貢献をしている。

やま　うち　やす　こ
○山　内　康　子

高知県女性防火クラブ連絡協議会　副会長
現住所　高知県香美市

昭和61年、繁藤婦人防火クラブ結成入会、率先して活動に参加、平成13年から繁藤婦人防火クラブ会長に就任、同年繁藤西又地区で発生した大規模林野火災において炊き出し等の支援活動を率先して実施している。

平成21年には住宅用火災警報器共同購入の推進、警報器の設置支援活動等を陣頭指揮、一般住宅や独居高齢者住宅等の防火指導に尽力、真のリーダーとして他の模範である。

平成16年からは、高知県女性防火クラブ連絡協議会副会長に就任、県内外で実施される研修会等に積極的に参加、豊富な識見と経験、卓越したリーダーシップで会長を見事に補佐し続け、その功績は顕著であり、会員等からの信頼も厚く、県下の防火普及啓発活動の発展に多大な貢献をしている。

団体の部

○本宮市女性消防協力隊

(隊長 渡邊 洋子)

所在地 福島県本宮市

本宮市女性消防協力隊は、昭和37年5月に発足した白沢村婦人消防協力隊と昭和45年4月に発足した本宮町女性消防協力隊が町村合併により平成19年1月に結成されて以来、予防消防対策を徹底するため『火災予防は家庭から』の合言葉のもとに、地域住民と協力して火災予防の普及徹底及び一般的防火思想の向上に努め、火災絶滅を図るという目的を持って活動している。市民の防火意識向上のために、市内盆踊り大会での住宅用火災警報器設置の呼びかけ活動の実施、消防本部主催の防災フェアへの参加、消防団行事への参加、普通救命講習による基本的救命技能の取得など、様々な予防消防活動を実施しており、小学校の入学・卒業式へ参加するなど、予防消防以外にも地域行事に積極的に参加し、住民の防火思想の高揚と同市の火災減少に多大な貢献をしている。

○日本橋防火管理者連絡協議会

(会長 小川 紘一郎)

所在地 東京都中央区

昭和37年3月の設立以来、防火・防災管理者の資質の向上や育成指導、自主消防訓練の促進、消防用設備等の設置維持の適正化、火災予防思想の普及啓発、地域の各種防災活動等への参加等、防火対象物の防火安全に資する各種事業を展開してきた。これらの事業を通じて日本橋地域の百貨店、ホテル、病院、工場、事務所ビル、マンション等の防火対象物の防火安全の徹底と地域事業所に対する防火・防災意識の高揚に多大な貢献をしている。

毎年行われる春・秋の火災予防運動や防災週間、文化財防火デー等では、開催されるイベントへ支援を行うとともに、積極的に参加している。また、ポスター、リーフレット等を作成、配布して火災予防思想の普及啓発を図っている。その他、情報提供として会報「防災ガイドにほんばし」の発行、年3回新聞折込みチラシ等を作成、タイムリーな情報提供に配慮し、地域の安全な街づくりに多大に寄与している。

とみずほいくえんようねんしょうぼうくらぶ
○富水保育園幼年消防クラブ

(園長 池田 公平)

所在地 神奈川県小田原市

同クラブは、昭和59年7月28日に幼年消防クラブとして小田原市内で初めて発足した。幼年消防クラブとして、任命式、消防車お絵描き会、花火教室、お絵描き展示会、駅での火災予防広報、消防出初式での演技披露など、園内の活動だけでなく園外の広報活動にも積極的に参加し、火災予防を呼びかけている。

また、小田原市消防本部管内の31園の運営指導について研究、助言し、クラブの健全な育成発展に寄与する目的として平成7年4月1日に設立された「小田原市幼年防火委員会」の副会長園を平成15年から平成23年まで長期間務め、現在は幹事園として、各クラブ間の強力な連携の維持に努めるなど、火災予防思想の普及に多大な貢献をしている。

ぎふけんじょせいぼうかくらぶうんえいきょうぎかい
○岐阜県女性防火クラブ運営協議会

(会長 杉山 洋子)

所在地 岐阜県岐阜市

県内女性防火クラブの健全な育成とクラブ相互の親睦を図り、もって火災予防思想の普及に寄与することを目的として昭和40年7月に設立。都道府県単位の組織の中では全国で最も古く、平成27年には設立50周年を迎える。

毎年夏には500人規模の指導者研修会を開催し、火災予防に関する知識の取得、防災意識の高揚を図っている。また秋には役員研修会を行い防火・地震対策に関する専門的な知識の取得関連施設等の視察を行っている。

近年では住宅用火災警報器の設置普及活動や空き缶などを用いた炊飯方法の普及などを通じて、防火・防災思想の高揚と県下の火災予防に多大な貢献をしている。

しらかわむらじょせいぼうかくらぶ
○白川村女性防火クラブ

(会長 木下 里香)

所在地 岐阜県大野郡白川村

同クラブは、昭和40年11月、婦人の消防に対する知識の習得や火災予防、消防行事の協力を目的として白川村婦人消防クラブが結成され、白川村女性防火クラブに名称を改め現在に至る。以来、初期消火活動の重要性を認識し、消火器の普及に尽力するとともに、消火器の取扱訓練を実施して、主婦の初期消火技術の向上を図るほか、住宅火災警報器の普及啓発活動や防火教室を開催するなど、防火思想の高揚と本村の火災の減少に多大な貢献をしている。

ひろはたふじんぼうかくらぶ
○広畑婦人防火クラブ

(隊長 岩 艶子)

所在地 兵庫県姫路市

昭和59年5月に結成以来、地域を中心に防火研修や消火訓練を実施し、婦人層の防火知識の高揚と消火技術の向上を推進しており、家庭における火災発生防止と地域の火災減少に大いに貢献している。また、地域の各行事では、住宅用火災警報器の啓発活動を実施し、設置率の向上を積極的に推進している。また、救急講習会を定期的で開催し、地域の応急救護知識の普及に努めるとともに、消防団や地域の自主防災会と連携して防災訓練にも積極的に参加する等、地域コミュニティーとの連携強化による地域防災力の向上を図り、安全安心で魅力的な地域社会の構築に多大な貢献をしている。

みつびしかがくぶつりゅうかぶしがいしやあまがさきゆそうしよ
○三菱化学物流株式会社尼崎油槽所

(取締役社長 石川 甚秀)

所在地 兵庫県尼崎市

昭和31年の設立以来、危険物保有事業所として、平素から地域における防火安全の企業責任を十分認識し、防火管理体制・危険物保安体制の充実に努めており、安全対策の徹底を推進している。

防災総合訓練はもとより、定期的に消防訓練を実施し、自衛消防体制の強化を図るとともに、市主催の研修会等にも積極的に参加し、従業員の安全教育に努め、安全・安心のまちづくりに寄与している。

また、尼崎市危険物安全委員会及び、尼崎市防火協会中支部の危険物保安部会の委員として、地域社会における防火防災体制づくりに多大な貢献をしている。

いわくにちゅうおうようちえんようねんしょうぼうくらぶ
○岩国中央幼稚園幼年消防クラブ

(理事長 中邑 喜根子)

所在地 山口県岩国市

平成14年3月12日発足以来、防火意識はもとより安全に対する心構えや人の命を大切にする意識を幼年期から身につけることを目的に、鼓笛隊によるマーチング活動を積極的に行っている。

平成21年度には財団法人日本防火協会から鼓笛セットの贈呈を受け、平成22年1月30日に岩国市総合体育館において、岩国地区消防音楽隊との合同演奏やマスゲームを披露した。

また、園内でも避難訓練を毎月実施しているほか、岩国市防災訓練への参加や火災予防作品応募のための消防車の写生大会も毎年実施するなど、防火教育にも力を入れている。

これらの活動が、地域住民や保護者に対する防災意識の普及啓発に大きな実績を上げている。

は や ま ち く ふ じ ん ぼ う か く ら ぶ
○葉山地区婦人防火クラブ

(代表 北川 美佐子)

所在地 長崎県長崎市

昭和46年7月28日に結成以来、火災予防の原点である「自分の家は、自分で守る」という意識のもとに、日頃から火災・災害を想定して、自治会や消防団とともに初期消火訓練や防火講話等を定期的実施しているほか、住宅用火災警報器を共同購入するなど住宅防火対策を推進し、町内から住宅火災による死傷者を出さないことを目標に積極的に活動している。

また、AEDの使用方法を含めた普通救命講習等も定期的実施するなど、幅広い活動を展開し地域住民の防火防災意識等の高揚に多大な貢献をしている。

き ゅ う し ゅ う で ん り ゃ く か ぶ し き が い し ゃ く ま も と し し ゃ
○九州電力株式会社熊本支社

(執行役員熊本支社長 藤本 淳一)

所在地 熊本県熊本市

昭和26年の設立以来、エネルギー供給事業者として活動を展開している九州電力株式会社熊本支社では、有事に備えた自衛消防隊を組織し、各種災害に対応するための数々の実践的な防火防災訓練を実施し、さらには熊本市防災協会・熊本市消防局共催の「防災研修会」、熊本市主催の「熊本市総合防災訓練」に積極的に参加するなど、事業所を挙げて防火防災管理体制の充実・強化に取り組んでいる。

また、平成24年7月の九州北部豪雨災害の被災地への従業員派遣、検針時に高齢者の異変等を通報する「熊本見守り応援隊」など、地域防災ボランティア活動にも積極的に取り組み、地域防災に対しても多大な貢献をしている。

消防功労者総務大臣表彰を受賞した消防団員 及び婦人（女性）防火クラブ員

消防団員

○^{かな}金 ^{もり}森 ^{くに}史 ^{ひろ}公

北十勝消防事務組合士幌消防団 団長
現住所 北海道河東郡士幌町

昭和41年に入団以来、48年余りの永きにわたり、消防使命の重要性を認識したうえでの一貫した地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は他の模範である。

平成21年3月に消防庁長官功労章を受章後も、冬期間においての大雪時は、自ら率先して他の団員とともに、老人世帯を対象に除雪を実施している。また、毎年実施される団員による一般家庭防火査察の実施時には、住宅用火災警報器設置促進のチラシを配布する普及啓発活動を行うことによって設置率向上（96%）に寄与し、地域住民の安心安全と防火意識の向上に多大な貢献をしている。

○^{さくら}櫻 ^{ばし}橋 ^{とし}敏 ^お夫

釧路北部消防事務組合鶴居消防団 団長
現住所 北海道阿寒郡鶴居村

昭和45年に鶴居消防団入団以来、43年余りの永きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、村民の安全確保に対する姿勢は、他の模範である。

平成10年に団長に就任してからは、消防施設の整備や防火思想の普及、団員の育成に力を入れている。村民の安心・安全を確保するため、全国的に消防団員の減少傾向が続く中で、消防団員の入団を促進し、平成26年4月に新たに2つの消防部を設立させた。

また、平成18年に北海道消防協会評議員、平成24年には北海道消防協会理事として協会発展のために尽力しその功績は誠に顕著である。

はた さき ひさ お
○畑 崎 久 雄

鮭川村消防団 団長

現住所 山形県最上郡鮭川村

昭和 38 年に入団以来、51 年余の永きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。

平成 17 年団長に就任し、消防施設の整備や団員確保に力を入れるとともに、全団員に上級救命講習を受講させ災害発生時速やかに応急処置を行える体制づくりを行っている。冬期間は高齢者世帯等除雪ボランティア作業を全分団で実施し地域に密着した活動を展開している。さらに、東日本大震災発災直後、全消防団員で義援金を寄付し、岩手県山田町には消防団本部の全自動ポンプ付積載車 1 台及び小型動力ポンプ 3 台を寄贈した。

また、平成 25 年からは、山形県消防協会副会長として尽力し、その功績は誠に顕著である。

よね かわ ふ じ お
○米 川 不二夫

大洗町消防団 団長

現住所 茨城県東茨城郡大洗町

昭和 36 年に入団以来、53 年余の永きにわたり、郷土愛護の精神を遺憾なく発揮し、消防業務に真摯に取り組み、消防団の発展に多大な貢献をした。

平成 15 年に団員と地域住民からの厚い信望を受けて団長に就任すると、時代に即した消防組織の充実強化のため団員の教養訓練等に尽力している。平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災においても、適切な緊急広報及び避難誘導活動により大津波から 1 人の犠牲者も出さず被害を最小限に食い止め、災害の復旧復興に勤めた功績は誠に大である。

また、平成 15 年から茨城県消防協会の副会長や理事を歴任するなど、地元はもとより県の消防力の充実強化に尽力しており、その功績は誠に顕著である。

しば やま よし ゆき
○柴 山 益 行

名古屋市黒石消防団 団長
現住所 愛知県名古屋市緑区

昭和59年に入団以来30年余、また、昭和63年に団長に就任以来26年余の永きにわたり、消防防災の第一線にあって、火災等災害防ぎよ、予防広報等に精力的な活躍を続けるとともに、豊富な識見で消防団の育成発展に尽力し、所属団員を始め地域住民からも絶大な信頼と敬愛を寄せられている。

平成20年4月には、名古屋市消防団連合会副会長に就任し、会長を補佐するとともに、消防団の処遇について検討を進め、団員の意見を取りまとめる等、その推進に向け尽力し、消防団の発展に寄与している。

また、平成23年3月の東北地方太平洋沖地震発生後には、被災地消防団に対する支援方針に積極的に取り組む等、その功績は誠に顕著である。

かわ なか たけ じ
○川 中 長 治

京都市山科消防団 団長
現住所 京都府京都市山科区

昭和44年に入団以来、44年余の長きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。平成14年4月、消防団長に就任以降は、強いリーダーシップを発揮して規律ある組織の構築に努めるとともに、分団幹部を含めた団員の育成指導に尽力するなど、消防団の発展をもって地域防災力の向上に大きく貢献している。

また、平成25年9月、台風18号の接近に伴い特別警報が発令された際には、早期に消防団水災警防本部を立ち上げ、的確な状況判断と指揮活動により被害の軽減及び未然防止に大いに貢献しており、その功績は誠に顕著である。

た なか あさひ
○田 中 旭

たつの市消防団 団長
現住所 兵庫県たつの市

氏は、昭和 45 年 1 月、龍野市消防団員に任命され、また、平成 13 年 4 月には消防団長に任命され長年に渡り、豊富な識見と卓越した指導力により消防団の発展に尽くした。

さらに、消防団長就任以降は、団員の教養訓練においては、定期訓練の充実と消防操法の必要性や実践に近い訓練を基本とし実施している。特に消防操法には力を注ぎ、ここ数年間は県大会に連続出場を果すなど、団員の基礎能力を確実に向上させている。

平成 23 年 3 月に起きた東日本大震災では、消防団幹部を招集し被災地へ何かできないかといういろいろ考え、たつの市消防団として宮城県南三陸町へ救援物資の搬送を行った。

東日本大震災以降も地震や津波に対する危機管理の重要性を訴え、市民が安全で安心して暮らせるまちづくりや防火思想の普及・啓発に多大な貢献をしている。

の た ふみ あき
○野 田 文 明

鳥取市消防団 副団長
現住所 鳥取県鳥取市

昭和 48 年に入団以来、41 年余の永きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。

平成 11 年、旧国府町消防団長に就任した。平成 16 年の 1 市 8 町村の市町村合併に伴う消防団の統合では、組織の再編、各種訓練・行事等の調整に尽力し、副団長に就任した。

数々の火災現場の指揮にあたり、また、行方不明者の捜索についても先頭に立ち、警察及び自衛隊と連携して捜索活動を行った。平成 25 年には国民保護訓練の実施に尽力し、地域防災力の充実に寄与した。

平成 16 年から今日まで副団長として消防団の発展に尽力し、その功績は誠に顕著である。

は せ べ さとる
○長谷部 悟

高幡消防組合榑原消防団 団長

現住所 高知県高岡郡榑原町

昭和36年に入団以来、53年余の長きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。消防使命を自覚し、規律厳正にして消防技能と教養の向上に励み、常に犠牲的精神で消防活動に努力を払う。

平成11年高幡消防組合榑原消防団長に就任してからは、広く住民との積極的対話を行い、地域住民の防火思想の向上・啓発に貢献するとともに、消防団員の資質向上に励み、自ら率先して新入団員の指導・育成に努め、消防団の発展に寄与する。

また、平成20年からは、日本消防協会代議員として尽力し、その功績は誠に顕著である。

婦人（女性）防火クラブ員

○^ご後^{とう}藤^{しげ}重^こ子

宮城県婦人防火クラブ連絡協議会 会長

現住所 宮城県多賀城市

多賀城市婦人防火クラブ連合会に加入した昭和58年から、地域の安全確保に向けて多大な貢献をしている。平成20年からは塩釜地区婦人防火クラブ連合会の会長就任と併せ、宮城県婦人防火クラブ連絡協議会の理事に就任した。同協議会副会長を経て、平成25年には会長に就任する中、県内各地で行われる各種行事等に積極的に参加、防火防災思想の普及啓発を行っている。このことから、これまでの功績が認められ、平成24年に日本消防協会優良婦人消防隊員表彰、平成25年に日本防火・防災協会会長表彰を受賞するなど、地域防災力向上の牽引者としての功績は誠に顕著であり他の模範である。

○^さ佐^{とう}藤^こみさ子

山形県婦人防火クラブ連絡協議会 副会長

現住所 山形県米沢市

昭和56年、米沢市婦人防火指導員連合会に入会、平成14年からは会長として同会の活発な組織運営を推進するとともに、住宅用火災警報器の設置促進活動を通じて、家庭防火における防火思想の普及に寄与している。

また、同年、山形県婦人防火クラブ連絡協議会委員に就任、平成16年には同クラブ連絡協議会の副会長に就任し、県内外各地で開催される研修会等に積極的に参加、優良活動の情報収集に励むとともに、各クラブの連携強化を図り、火災予防の普及に努めている。

平成26年1月には日本防火・防災協会会長表彰を受賞するなど、その評価を得ており、地域防災力向上の牽引者としての功績は誠に顕著であり、他の模範である。

○安野照子

兵庫県婦人防火クラブ連絡協議会 副会長
現住所 兵庫県西宮市

昭和56年、西宮市家庭防火クラブ協議会創設時から同クラブの発展に寄与し、平成15年には同協議会会長に就任している。平成17年には兵庫県婦人防火クラブ連絡協議会の副会長に就任し、長きにわたり、家庭での火災予防や防火思想の普及啓発等を図るため、防火研修会や救急講習会、自主防災組織と連携した住宅用火災警報器の設置促進活動や発災型防災訓練等の実施に尽力し、住宅用火災警報器の設置率及び地域防災力の向上に繋がった功績は誠に顕著であり、他の模範である。これらの功績を称えて、平成25年度に日本防火・防災協会会長表彰を授与され、その後も、多くの事業を展開しており、熱意を持って防火・防災に取り組んでいる。

○田所雪子

香川県婦人・女性防火クラブ連絡協議会 会長
現住所 香川県高松市

昭和57年、高松市鬼無町婦人防火クラブを自ら会長となり設立後、地域の防火活動に率先して参加し、その安全確保に多大な貢献をした。

平成18年に高松市婦人防火クラブ連絡協議会会長に就任してからは、34クラブ6,747人のクラブ員の会長として、火災予防思想の啓発に寄与した。

また同年、香川県婦人防火クラブ連絡協議会副会長に就任後は、住宅用火災警報器の普及や、防火・防災意識の啓発に積極的に取り組み、平成24年には同協議会会長に就任した。

平成25年度に日本防火・防災協会会長表彰受賞後も、防火防災思想の普及啓発を行い、地域防災力向上の牽引者としての功績は誠に顕著であり、他の模範である。

○大 ^{おお} ^{もり} ^{さち} ^こ
森 幸 子

愛媛県婦人防火クラブ連絡協議会 会長

現住所 愛媛県伊予市

昭和57年、湊町婦人防火クラブ加入後、率先して地域での防火活動に積極的に参加し昭和58年同クラブ代表者に就任し、地域の安全確保に多大な貢献をしている。

昭和58年伊予市婦人防火クラブ連絡協議会会長に就任してからは、80人のクラブ員の会長として、婦人防火クラブの健全な育成とクラブ員の連携強化を図り火災予防の普及に寄与した。

また、平成25年愛媛県婦人防火クラブ連絡協議会会長に就任後は、防火・防災の啓発活動に積極的に取り組み、さらに日本防火・防災協会会長表彰受賞後は県内各地で行われる各種行事等に参加し防火防災思想の普及啓発を行い、地域防災力向上の牽引者としての功績は誠に顕著であり、他の模範である。

総務大臣表彰の種類		受賞者数	計
安全功労者表彰	個人	15	25
	団体	10	
消防功労者表彰	消防団員	9	14
	婦人(女性) 防火クラブ員	5	